

なかよく 令和7年度 最終号



かしこく

元気よく

令和8年3月26日 文責 黒木 幸博

## たいへん お世話になりました

令和5年4月から3年間、母校の校長として仕事をすることができ、幸せでした。子供たち、保護者、地域の方々、そして先生たちに支えられた3年間でした。

ありがとうございました。

校長として大切にしてきたことは「学校は子供たちの未来をつくる」「校長は先生たちの未来をつくる(守る)」ということです。子供たちや先生たちの5年後、10年後、そしてその先という未来のために、「今、湯前小学校ができること」を意識して取り組んできました。(校長は言うだけで、取り組んだのは子供たちや先生たちですが・・・笑)

私の願いは、今の子供たちが将来、どこに住んでいても、湯前町や人吉球磨に誇りを持っていること、今の先生たちが将来、人吉球磨の各学校のリーダーとなって活躍していることです。そうすると嬉しいですね。

私は、4月から学校を離れ、山鹿市の教育委員会に勤めることとなります。山鹿市内の学校のサポートが仕事となります。湯前小学校での経験を生かして頑張りたいと思います。

また、これからは、地域の支援者(週末は湯前にいることが多い)として湯前小学校を応援していきます。

## 卒業証書授与式

今年、29人の卒業生が次のステージ、中学校に旅立ちました。一人一人が充実した中学校生活となることを願っています。

今年の卒業式では、式辞の中で、私が大切にしていることについて話をしました(昨年度4月にも一度紹介しています)。卒業生だけでなく、在校生のみなさんにも大切なことと思いますので、改めて紹介します。

【概略】

私が一番大切にしていることは、「出会いで人の生き方は変わり、心のもち方で出会いは変わる」ということです。人生は、いつ誰とどこで出会うかによって変わります。しかし、その出会いが自分の人生にとって大切な出会いかどうかは、そのときは分かりません。後になって分かるものです。もしかしたら、運命的な出会いを見逃していることもあるのかもしれません。

教師になり、このことを強く感じ、たくさん先生方や子供たち、保護者、地域の方々との出会いを大切にするようになりました。そして、私と出会った人が「私との出会いがあってよかった」と思ってもらえるような行動、言動をしなければならぬと強く意識するようになりました。今ならば、「私は湯前小学校の校長として、子供たちや先生たちの役に立っているのか」を強く意識しています。

皆さんには、これからたくさんのお会いが待っています。その出会いの一つ一つを大切にしてください。と同時に、相手にとっても皆さんとの出会いがよかったとなるような行動、言動を心がけてください。自分にとっても相手にとっても、よい出会いかどうかは、全て、皆さんの「心のもち方」次第です。

皆さんの「よい出会い」を願っています。

## 学校HPの紹介

学校で行われた行事等を紹介しています。過去の学校だよりも掲載しています。



## 校長より

### 【今月の言葉】

自分が理想とする形や結果にたどり着くには長い時間がかかる。自分で成功と思うまでやめずに続けること。途中でやめた瞬間が失敗であり、うまくいくまで続けることが成功である

車椅子テニスプレイヤー  
小田凱人(ときと)さん

小田さんは9歳の時、病気で股関節や骨を切除することになり、車椅子を使っての生活となりました。入院中に見た車椅子テニスの大会で、世界王者の国枝さんという選手のプレーに感動し、憧れ、「世界一の自分」を理想とし、努力されてこられました。そして14歳で世界ジュニアチャンピオン、18歳でオリンピックチャンピオンとなり、「理想とする自分」になりました。

「続ける」ことは大切なことです。そしてそれがいかに難しいかも分かります。しかし、私たちも、難しいと思いますが、理想の自分を目指し、努力し続けていきましょう。

みんな、頑張りましょう！

黒木の学校だよりは、今回が最終回となりました。3年間読んでいただき、ありがとうございました。

4月から中村友紀校長先生が来られ、新しい「湯前小学校」がスタートします。令和8年度も頑張り！湯前小学校！